



11

2014年11月1日 Vol.243

発行 医療法人財団 織本病院
〒204-0002
東京都清瀬市旭が丘1-261
TEL 042-491-2121
URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



ブルー バタフライ ブッシュ

慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

理事長・院長 高木 由利



急に秋が深まり、朝晩が寒くなってきました。この原稿を書いている時も膝掛けを手放せなくなりましたが、柿の色が秋らしくて美しいです。

* * *

最近、COPD という略語が介護保険の審査会でもよく出でています。何でも略語にするのが流行っていますが、正式には慢性閉塞性肺疾患と呼びます。この病気の本態は、肺を構成している肺胞というガス交換を司っている肺の最小単位の組織が、喫煙などをきっかけとして破壊されてしまう状態です。その結果、気道の炎症が起り、年余に亘り徐々に且つ不可逆的に息切れが生じ、やがて肺炎になります。肺炎になると治療がなかなかうまくいかず、呼吸苦の日々を送り長い入院を必要とします。

COPD の患者数は、世界的にも増加しており 2020 年までに全世界の死亡原因の第 3 位になると推測されています。

COPD の患者さんの肺の CT を見ると、それは何とも言い難い哀れで汚い CT 画像です。腐ったヘチマの断面を見ているようです。柔らかい弾力性のある高級スポンジのような正常の美しい肺とは違うのです。タバコを吸うとこんなに見るも無残な肺になるのかと思

う程です。

街を歩いているとタバコを吸いながら歩いている若い人を時々見かけます。そばに行って、“あなた 50 年後には 24 時間酸素を吸っていなければ苦しくて口もきけない人になるんですよ！”と教えてあげたくなります。私の患者さんにも COPD の方がいて、その方の肺炎の治療は本当に大変です。多くの場合、自分の唾液をハッと吸い込んでしまって、それを排出できず肺炎になるのです。所謂、誤嚥性肺炎です。ボロボロのヤニだらけの肺が肺炎になる訳ですから、どんなに効力のある抗生物質を点滴してもヘドロに薬を流し込んでいるようなものです。だから私は治療しながら虚しくなるのです。本当はゆったりと老後を楽しんで頂きたい年齢の方々なのに、こんな苦しい日々を送らなければならないのはあまりにも悲しいことではありませんか。

今、タバコを吸っているあなた…。私の提言に真剣に耳を傾けて下さい。今タバコをやめれば手遅れではないかもしれませんからです。

当院の寺門正裕先生が禁煙外来に真剣に取り組んでいます。診療日は毎週金曜日の午後です。どうぞいらして下さい。一緒に禁煙対策を考えて下さい。

ザ・ショクインズ 秋を愉しむ コンサート

Guitar

専務理事 箕輪 比呂志



秋晴れの中、第3回目のギターデュオコンサートを開催しました。菊池先生と共に加え、透析センター臨床工学技士の太田さんを巻き込み、タンバリンの音を交えることができました。簡易なドラムか太鼓を購入して打楽器ができる人を巻き込むことも考えましたが、まずは手軽なタンバリンを取り入れることにしました。太田さんは昔から多彩な芸を持っていると聞いていましたので、白羽の矢を立てた訳です。2つ返事ですぐに引き受けてもらい、実は全くのぶっつけ本番でした。菊池先生と太田さんはコンサート当日が初対面でした。

ギターについては、先生と2

人で選曲をして楽譜を作っておき、演奏会前の30分で打ち合わせて本番というバタバタ状態でミスも沢山ありましたが、聴衆の皆様の手拍子や笑顔、拍手に励まされて、気持ちよく演奏を行うことができました。ビートルズやカントリー調の洋楽も入れましたので新たな試みでした。

次回は1970年代のフォークソングとビートルズの演奏を考えています。次回は4月、または5月の第2土曜日を予定しています。たくさんの皆様のご来院をお待ちしています。



Guitar

東京女子医科大学 形成外科 准教授 菊池 雄二

去る10月11日に織本病院2階ロビーに於いて、「秋を愉しむコンサート」に参加させていただきました。コンサートパートナーである専務理事の箕輪さんとは28年前からの御付き合いです。2年半程前に再会し、縁あって月に一度、清瀬に仕事でお邪魔するようになり、コンサートは3回目でした。

ギターの音色が昔から好きで、何本か購入し1人でポロポロとつま弾いています。今回、アメリカのメーカー「テイラー」の314ceというギターを使いましたが、

私の大好きなギタリスト押尾コータローさんも使用している素敵なギターです。練習時間も少なく、満足の行く演奏ではありませんでしたが、患者様をはじめ集まって頂いた方々の笑顔を拝見し、感謝の言葉をかけて頂いた事は無上の喜びです。

今回は、透析センター技士の太田さんがタンバリンとして参加され、楽しいパフォーマンスに魅了されました。高木理事長はじめ準備をして頂いたスタッフの皆様に感謝いたします。



Tambourine 透析センター臨床工学技士主任 太田 英憲

今回初めて“ザ・ショクインズ”的コンサートにタンバリンで参加させて頂きました。タンバリンはカラオケで酔っ払った時に乗りでやるくらいなのですが、何故か根拠のない自信もあり仲間に入れてもらいました。

とはいっても練習もないまま本番当日を迎えたため、菊池先生と箕輪専務のギターデュオの邪魔をしないよう冷や汗をかきながら手探りでリズムをとり、あっという間に全9曲が終わりました。会場の皆様に温かい拍手と声援を頂き、楽しい時間を過ごすことができました。

演奏後も患者様やご家族の皆様に温かい声をかけて頂きました。本当にありがとうございました。次回も参加させて頂けるのであれば？もう少し練習して上手くなっていたいと思います。(笑)



アフリカで
エボラ出血熱が
大流行、デング熱が70年ぶりに国内発生と今まで
馴染みの薄かった感染症が最近取り沙汰されています。これらの感染症がさらに流行するかなどは
今後注意深く見守る必要があります。

さて、国内でこれから確実に流行する感染症としてインフルエンザがあります。2013-2014シーズンは国内でおよそ11163万人が
感染し、流行規模としては例年並みと報告されています。

インフルエンザは所謂風邪（風邪症候群）とは
全く異なるウイルス感染症です。重症化すると肺
炎や脳症などに陥り、死に至る危険性もあります。
また、感染力が強いため家庭内や職場内で誰か1
人がインフルエンザに罹ると瞬く間に家族全員、
職場の多くの人に拡がってしまう危険性があります。

勿論、予防接種だけで完全にインフルエンザを
防げる訳ではありません。人ごみに出る際はマスク
を着用する、外出から帰った際は石鹼と流水で
十分に手洗いを行い、うがいをすること、睡眠不
足や過労を避け体力が落ちないように注意するこ
と、暴飲暴食や偏った食生活をしないようにする
ことも極めて重要です。

インフルエンザは突然38℃以上の熱が出て、関
節痛や筋肉痛がそれに続くことが特徴です。イン
フルエンザが疑われる症状が出たら早急に医療機
関を受診するようにしましょう。

インフルエンザ対策は 予防接種が 基本!!



内科・糖尿病外来

佐藤 潤一
さとう じゅんいち

す。そのためイン
フルエンザ対策が
重要ですが、そ
の基本は予防接種を
受けることです。
関東周辺では例年
4月頃まで続きます。予防接種を受けてから抗体
が出来て効果が認められるようになるのに凡そ2
週間かかります。そのため遅くとも11月下旬まで
に予防接種を受けておくことが大切です。注射の
回数は13歳以上のは1回、13歳未満の子供では2
～4週間の間隔を開けて2回の接種が必要です。
予防接種は風邪をひいて熱があるなど体調不良の
時は受けることが出来ませんので余裕をもってス
ケジュールを立てることが大切です。

勿論、予防接種だけで完全にインフルエンザを
防げる訳ではありません。人ごみに出る際はマスク
を着用する、外出から帰った際は石鹼と流水で
十分に手洗いを行い、うがいをすること、睡眠不
足や過労を避け体力が落ちないように注意するこ
と、暴飲暴食や偏った食生活をしないようにする
ことも極めて重要です。

インフルエンザは突然38℃以上の熱が出て、関
節痛や筋肉痛がそれに続くことが特徴です。イン
フルエンザが疑われる症状が出たら早急に医療機
関を受診するようにしましょう。

インフルエンザ予防接種のご案内

15歳（高校生）以上の方を対象にインフルエンザ予防接種を受け付けております。

現在病院にかかられている患者様は必ず主治医とご相談の上、お申込みください。

当日接種希望の方は、ご来院時に受付窓口にてお申込みください。

- 受付時間 月曜日～土曜日（予約可）
午前 8:30～11:30
午後 13:30～16:30
- 接種費用 **1回 3,240円（税込）**
- 対象年齢 15歳（高校生）以上
- ご予約・お問合せ TEL 042-491-2121 (9:00～17:00)

随時受付

清瀬市在住の**65歳以上**の方は**2,200円**の負担で接種できます。

※ 60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器等で1級の障害をお持ちの方も該当します。
障害者手帳をお持ちください。

実施期間：平成26年10月15日（水）～12月27日（土）

ご予約は、当院受付窓口または電話にて 042-491-2121

- ・受診の際には、保険証と診察券（お持ちの方）をお持ちください。
- ・生活保護世帯、中国残留邦人等支援給付対象者の方は減免制度がありますので、証明書をお持ちください。



※ 肺炎球菌ワクチンの接種も受付けております。ご希望の方はお電話または受付窓口にてご予約下さい。

第160回 腎疾患ゼミナール

正しい腎不全食をマスターしましょう⑨

『1年間の食事療法を振り返りましょう』

腎臓内科：高木 由利

リハビリテーションセンターからのワンポイントアドバイス

『ブレインストーミングをしてみましょう』

理学療法士

2014年 11月 20日（木）

午後1:00～2:00

オリモトホール（織本病院4F）

参加費無料



糖尿病教室のご案内

● **11月4日（火）**

運動療法

理学療法士

● **12月2日（火）**

食事療法（外食・間食・アルコール）

年末年始の食事

管理栄養士

会 場：第1会議室（織本病院4F）

時 間：午後1:00～1:30

参 加 費：無料

予 約：不要（直接会場へお越しください）